

## 気候情報

### 2015年3月の日本の天候

- 北日本では3月として1位の高温
- 北日本では降水量がかなり多かった
- 西日本日本海側では日照時間がかなり多かった

#### 3月の天気概況

日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したが、上旬から中旬前半にかけては全国的に低気圧や前線の影響を受けやすかった。その後は、西日本を中心に高気圧に覆われて晴れる日が多く、西日本日本海側では月間日照時間がかなり多くなった。また、シベリア高気圧の日本付近への張り出しが弱く、北日本を中心に南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、北・東日本では月平均気温がかなり高くなった。特に北日本では気温の高い日が続き、月平均気温は平年差+2.4℃となり、1946年の統計開始以来3月として1位の高温となった。

**上旬：**1日から2日にかけては、北日本太平洋側を中心に暴風雪となった。また、9日から10日にかけては急速に発達しながら北海道付近に進んだ低気圧の影響で、北日本太平洋側を中心に大雨となり、伊達市大滝（北海道）では10日の日降水量が195.0 mm（1978年の統計開始以来3月として1位）に達するなど、3月としては記録的な降水量となった。旬降水量は北日本太平洋側で平年比560%、北日本日本海側で平年比250%となっており、いずれも1961年の統計開始以来3月上旬としては最も多く、北日本太平洋側の旬間日照時間は平年比61%となり、3月上旬としては最も少なかった。また、北日本では旬平均気温は平年差+2.7℃となり、3月上旬としては1位の高温となった。旬平均気温は、北日本ではかなり高く、東日本は高かった。一方、西日本では低かった。旬降水量は、全国的に多く、北日本と東・西日本太平洋側ではかなり多かった。旬間日照時間は、全国的に少なく、北・東日本と沖縄・奄美ではかなり少なかった。

**中旬：**11日から12日にかけて発達した低気圧がサハリン付近に停滞し、日本付近には強い寒気が流れ込んだ。北日本を中心に暴風雪が続く、北・東日本日本海側では大雪となった。太平洋側にも雪雲が流れ込み、岐阜では11日に15 cmの積雪（1891年の統計開始以来3月としては1位タイ）となった。その後は低気圧と高気圧が交互に通過し、17日は高気圧に覆われ全国的に晴れて、気温も平年を大幅に上回った。旬平均気温は、全国的に高かった。旬降水量は、東日本日本海側でかなり多く、北・西日本日本海側で多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多かった。

**下旬：**23日から24日にかけて低気圧が北日本で発達し、北日本を中心に一時的に冬型の気圧配置となったため、26日頃にかけて気温が平年を下回った所が多かったが、後半は全国的に移動性高気圧に覆われ、晴れて気温が高くなった日が多かった。北日本では、旬平均気温が平年差+2.6℃となり、1961年の統計開始

以来3月下旬としては1位の高温となった。また、東・西日本では日照時間がかなり多く、旬間日照時間は東日本日本海側で平年比157%、東日本太平洋側で平年比169%、西日本日本海側で平年比172%、西日本太平洋側で平年比162%となり、いずれも3月下旬として最も多かった。旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。旬降水量は全国的に少なく、北日本太平洋側と東・西日本ではかなり少なかった。旬間日照時間は、全国的に多く、北日本太平洋側と東・西日本でかなり多かった。

#### 3月の気候統計

**月平均気温：**北日本と東日本ではかなり高かった。

**月降水量：**北日本ではかなり多かった。東日本日本海側と西日本太平洋側では多く、東日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。沖縄・奄美では少なかった。

**月間日照時間：**北日本太平洋側は少なかった。一方、西日本日本海側ではかなり多く、東日本と西日本太平洋側では多かった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 3月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）  
旭川 1.7 釧路 1.7 八戸 4.9 など20地点
- ・月降水量多い方から（mm）  
寿都 213.0 仙台 184.0 など6地点
- ・月間日照時間少ない方から（h）  
広尾 126.0

#### 2015年3月の平年差（比）図

